

さめがわ村 みんなの

No
154

平成30年11月

題字：鮫川小学校
2年 鈴木 音弥さん

ズカリーナだより

大きく育ったネ
サツマイモくん!
(にどもセンター、サツマイモ堀)

9月定例会

平成29年度決算 お金のつかいみち

9月定例会、議案調査、補正予算	2~5
特集政策検証と評価	6~7
一般質問に4議員登壇	8~12
議会活性化研修会	13
検証!どうなったつべあの一般質問	14
村民の広場	15
ふるさと鮫川への想い	16

ゆうきくんが解説



9月
定例会

気になる鮫川村の

借金と貯金

平成30年3月末現在(ふつうのさいふ)

借金 村債

31億5604万円

貯金 基金

21億3936万円

村民1人あたり
91万5000円

村民1人あたり
62万円

専用のさいふ

特別会計

国民健康保険特別会計(事業勘定)

会社員ではない人の健康保険専用さいふ

入 5億3402万円 出 4億9317万円

国民健康保険特別会計(直診勘定)

村診療所専用さいふ

入 6475万円 出 5940万円

簡易水道事業特別会計

水道専用さいふ

入 1億2362万円 出 1億2159万円

村営バス事業特別会計

村営バス専用さいふ

入 1234万円 出 1103万円

集落排水事業特別会計

集落排水専用のさいふ

入 3507万円 出 3252万円

介護保険特別会計

介護保険専用さいふ

入 4億8819万円 出 4億8257万円

交流施設特別会計

ほっとはうすさがわ(宿泊施設)専用さいふ

入 1741万円 出 1634万円

学校給食センター特別会計

学校給食センター専用さいふ

入 9496万円 出 9474万円

後期高齢者医療特別会計

75歳以上の方の健康保険専用さいふ
(一定の障がいがあると認定を受けた65歳以上)

入 3730万円 出 3721万円



大 樂 勝 弘 村長

9月定例会の
あらまし

9月定例会は、9月13日から20日までの8日間の会期で開かれました。今定例会は、平成29年度会計の決算認定、平成30年度各会計の補正予算のほか、専決処分1件、専決処分の承認1件、条例の一部改正3件、工事請負契約の変更1件、人事案件を含む28議

案が審議されました。提出された議案は、すべて原案のとおり可決・同意されました。また一般質問では、4名の議員が登壇し、村政全般についていただきました。

平成29年度
決算

子どもにも分かりやすい 村のお金の

**ふつうの
さいふ**

一般会計

入ってきたお金
36億1850万円

使ったお金
34億190万円

村の力で得たお金

みなさんから
税として集めたお金

2億8906万円

村の事業で村民の
ふたんしたお金

757万円

保育料や村の住宅を
かすなどして得たお金

4276万円

貯金をとりくずしたお金

2億9789万円

去年のこったお金

1億5860万円

きふ金・その他のお金

6482万円

国や県からもらったお金

国からもらったお金

地方交付税など

18億5590万円



国や県からもらい
使い道が決められたお金

国庫支出金
県支出金

6億780万円

借金

国や銀行から借りたお金

2億9410万円

人件費
5億6947万円

村の村長、議員、職員に
はらうお金

扶助費
2億2017万円

お年寄りや体の不自由な
方を助けるお金

公債費
3億7727万円

借金を返すお金

普通建設事業
5億6264万円

道路や建物などの
建設事業に使うお金

災害復旧事業
7012万円

台風の災害により
河川などをなおしたお金

物件費
4億2440万円

事務用品などを
買うためのお金

維持補修費
1820万円

建物などをたもつお金

補助費等
4億9371万円

地域や各団体へ
ふたんするお金

貸付金
750万円

他にかすお金

積立金
3億5876万円

いざというときのために
貯めておくお金

繰出金
2億9966万円

おもに専用の
さいふにうつすお金

完成事業などを検証

議案調査



農業振興の助成金を受けた大型最新鋭農業機械(コーンハーベスター)

平成29年度に完成した事業や今年度の各事業について、各常任委員会による合同調査を実施し、現地調査にて現状を確認しました。

総務文教常任委員会

問 消防団員等公務災害補償費の内訳は

答 消防団員の保険と退職金、福祉共催、災害時の入院時の保障

問 防災行政無線施設保守点検の内訳は

答 防災無線の点検費の労務費他

問 会計年度任用職員制度例規支援業務は

答 任用職員の給与他、条例整備業務

問 通信用鉄塔施設費は

答 仁田地区、蔵平地区の携帯鉄塔設置費

問 備品購入費の内訳は

答 情報セキュリティ対策のための収納庫

問 防犯灯移設撤去工事は

答 村内防犯灯4件の設置費

問 準要保護児童援助費、特別支援教育就学奨励金の内訳は

答 生徒、児童への学用品購入費の補助金

産業厚生常任委員会

問 鳥獣被害対策事業について

答 イノシシ105頭、カルガモ4羽他の捕獲助成金

問 放射能対策事業費

答 東日本大震災農業生産対策交付金は農業収穫体制を整備する機械導入補助金

問 森林再生事業の詳細は

答 真坂地区の森林再生事業24.59ha

問 米全量全袋検査推進事業は

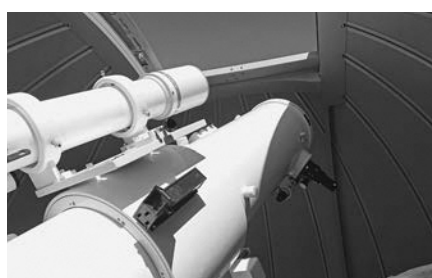
答 出荷米、保有米の全量全袋検査料

問 福島県産地パワーアップ事業は

答 生産コストの軽減を図るコンバイン導入補助金



村道新宿古殿線、石井草地内



整備された鹿角平天文観測所



完成を待つばかりの水口住宅

一般会計 補正 予算

平成30年度一般会計予算額29億3297万円1千に対して2億2119万4千円を増額し、総額31億5416万5千円とし全議員が原案通り可決承認しました。

ここに注目!

基金(貯金)積立に1.3億円



真坂農村公園案内板整備
64.8万円

財政調整基金……7298万円
公有施設整備基金……3000万円
教育施設整備基金……3000万円
ふるさとづくり基金……24万円
(ふるさとづくり寄付金8件分積立)

基金積立合計
1億3322万円



光ファイバー移転工事
2445万円



こどもセンター玄関階段補修工事 ほか
115万円



外構を砂利からアスファルト舗装に変更されました。

工事契約の変更 を承認

水口住宅建設費7506万円を7856万7千円に増額補正し、全会一致で可決いたしました。

評価

政策提言の中間検証

施策に活かせるか13のプロジェクト

村議会政策提言検討特別委員会は、昨年10月に具体的な18項目の政策提言を星議長に答申。さらに大樂村長に提出しました。

その提言書に対して、大樂村長より回答書が示され、約1年が経過し、村議会では初の中間評価と検証を行いました。

回答書によると既に実施されている事業、計画中の事業もあり、検討したいとしています。また多くの村民から意見を集約した「鮫川村総合戦略」の13プロジェクトを推進し、政策提言を反映させたいとしています。

各議員による政策提言の評価は厳しい数値となっていますが、村では今後の各プロジェクト実現と、計画実現に向けて推進したいとしています。

厳しい評価 次施策に期待



子育て、教育支援も大切な施策のひとつ

鮫川村総合戦略 主要施策

1. ふるさと回帰プロジェクト
2. 地域おこし商社プロジェクト
3. 産業おこし/特産品プロジェクト
4. 温泉活用プロジェクト
5. 鹿角平観光牧場合宿誘致プロジェクト
6. 環境公社設立・農村環境維持プロジェクト
7. 小さな仕事づくりプロジェクト
8. 移住者向け住宅環境整備プロジェクト
9. 公民連携ふるさと留学促進プロジェクト
10. 子育て・教育支援プロジェクト
11. 社会人の生涯学習プロジェクト
12. 貸農園を活用した都市交流プロジェクト
13. 児童公園を核とした賑わいのあるプロジェクト

議会政策提言検討特別委員会が中間検証



各提言項目の回答と現状を把握しながら中間評価する委員会

政策検証評価の基準

A	必要な取り組みを確実に実施。その結果目標達成している。
B	必要な取り組みを着実に実施。その結果、達成に向けて具体的な成果がみられる。
C	必要な取り組みがおおむね実施。その結果、一定の成果が見られる。
D	必要な取り組みに着手しているものの、目標達成までには、なお課題が残されている。
E	取り組みに向けた検討に未着手、目標達成に向けた展開が確認できない。

政策提言から1年が経過した現在の評価

提 言	提言の内容	村からの回答	評価
【提言 1】 住宅促進対策及び 子育て支援	子育て対応の建築購入・リフォーム等の住宅取得支援	定住促進住宅建設、分譲地整備、自家用水道、合併浄化槽、太陽光整備を実施。	D
	保育料の無料化、制服・運動着・給食費の無料化	子育て・教育プロジェクトで検討。	E
	交通弱者(高齢者・高校生)、買い物弱者、医療通院対策	3路線バス確保、買い物弱者支援、患者送迎車輛を実施。	C
	高齢者・移住者への除草、除雪、集会所等のバリアフリー対策	高齢者除草支援、地域除雪報償金支払、バリアフリーは集会所施設等改修費助成事業実施。除雪機購入支援は検討。	C
	若者の出会いの場、結婚祝い金、仲人奨励金の増額	広域圏の「触れ合いの場創出事業」に参加。結婚対策検討委員会の活動。	D
	福祉、子育て、住宅、除雪村民生活応援ガイドブック	村民生活応援ガイドブックは30年度に完成を目指す。	D
【提言 2】 村有施設のあり方	村有施設の住民参加での総合管理計画	鯉川村公共施設等総合管理計画は平成28年度から30年間の計画を、村民の意見を聞き※「パブリックコメント」を実施し平成29年度に策定した。この計画を今後の個別計画に反映させる。 ※【パブリックコメントとは】 公衆(村民)の意見。公的機関(役場等)が命令、規制、基準などを制定・改廃する際に、事前に広く一般から意見を募ること。	D
	「村づくりの大きな視点」で計画の推進		
	機能性の重視と複合化		
	保有総数の圧縮と耐震補強化可能施設の明示		
	施設重視から機能優先への転換可能施設の実施計画		
	さざり荘の運用改善と再利用計画		
	施設の更新費用の試算と財源確保並びに返済計画		
【提言 3】 雇用の場の確保	計画策定までの村民参加の道筋の明示		
	企業誘致の強化、維持	産業おこし・特産品プロジェクト、小さな仕事づくりプロジェクトで推進する。	D
	人材育成と起業支援		
	既存事業所への支援、育成		
	既存施設(空校舎等)の活用、農業研修生の受け入れ		

※評価は議会政策特別委員会委員(議長を除く8名の議員)の各評価の平均値を示したものです。

議員4人が登壇ズバリ!! 村政を問う!

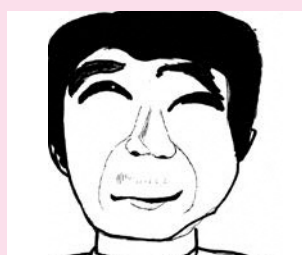


(阿久津 美空さん)

北條 利雄 議員

P9

- ① 廃棄物などの不法投棄防止
- ② 臨時・非常勤職員に関する「会計年度任用職員」の導入
- ③ 地域振興と政策手段の見直し



(関根 はなさん)

関根 政雄 議員

P11

- ① 多目的スポーツ施設の整備
- ② 公営住宅の環境整備



(北條 吏桜さん)

宗田 雅之 議員

P10

- ① 青少年広場グラウンドの改修
- ② 旧湯の田温泉周辺の振興策



(石井 結大さん)

前田 武久 議員

P12

- ① 簡易水道の水源確保
- ② 簡易水道の管理状況

議会の進行



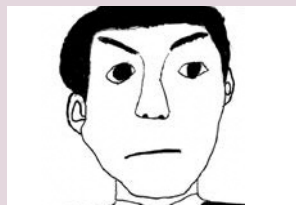
星 一 彌 議長
(青戸 光輝さん)

にが絵は
鮫川小学校の
元気な3年生に
描いて
いただきました

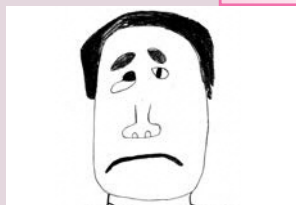


ボクも私も
議会のお手伝い!!

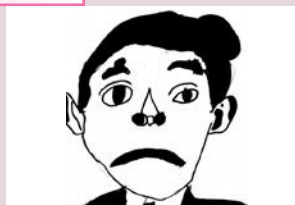
出席議員



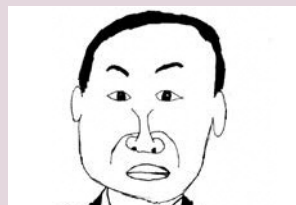
遠藤 貴人 議員
(生田目 真優さん)



堀川 照夫 議員
(山形 陸貴さん)

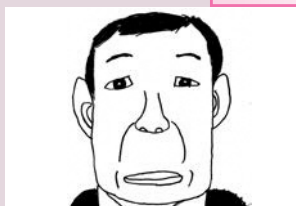


関根 英也 議員
(金澤 莉子さん)



前田 雅秀 議員
(森 夏帆さん)

答 弁 者



大樂 勝弘 村長
(須藤 優空さん)



奥 貫 洋 教育長
(木村 隆一さん)

出席者



白坂 利幸 副村長
(鈴木 悠生さん)

※ 定例議会には、ほかに
代表監査委員、各課長
が出席しています。



北條 利雄 議員

地域振興

問

地域振興と政策手段の見直しを伺う

答

経営戦略のさらなる確立を目指す

質問

重視すべき取り組みが「地域振興」である。地域間格差や人口減少の問題を踏まえ、地域振興の課題を改めて考える必要がある。特に振興のための政策手段や手法を見直すことが重要であり、政策手段を開発・導入していくなかで、官民連携型の地域振興が必要。

民間投資や活力をいかに地域で生み出すとともに、政策手段を集中すべきであり、各種計画の手順、経過、過程に修正をかけ続けることも重要。本村の地域振興のための政策手段、手法の見直しを伺う。

答弁(村長)



不法投棄された廃タイヤ

戦略のさらなる確立を目指す。課題解決、目標の実現に向け取り組みであり、事業内容が固まった段階で示す予定である。

問
廃棄物などの不法投棄防止を伺う

答
村民総ぐるみで不法投棄防止に努める

質問

不法投棄の問題は、村民の生活環境が損なわれ、廃棄物処理に対する不信感や不安感の増大に繋がり、廃棄物処理のイメージを悪くする。村は、ごみの不法投棄をなくすために各種事業を実施し、村民の意識高揚を図る努力が続けられ、その成果が着実に現れている。しかし産業廃棄物の不法投棄と思われる事案があるのも事実で、村が把握する不法投棄などの事案に対する処理状況や防止対策を伺う。

答弁(村長)

廃棄物の不法投棄には、必要に応じ現地確認、聞き取り、現状回復等の指導を実施している。撤去が進まない状況もあるが、関係機関と連携・協力し現状回復に向けて粘り強く指導している。

不法投棄防止策には、村の不法投棄監視員、県の産業廃棄物不法投棄監視員による定期的な巡回を行い、不法投棄の防止及び投棄物の発見に努めている。さらにシルバー人材センターの不法投棄巡回車による回収可能な廃棄物の撤去と処理を行っている。引き続き、不法投棄に関する意識の啓発・啓蒙を図り、村民総ぐるみで不法投棄防止に努める。

質問

自治体の非正規職員(臨時・非常勤)は、一般事務はもとより、様々な分野の職種に広がっており、今や行政の重要な担い手である。賃金格差の是正や、適正な任用、勤務条件の確保は求められて然るべきもの、状況を改善するために法改正がなされた。本村の現在の状況や今後のスケジュール、財政負担等を伺う。

答弁(村長)

臨時非常勤職員の実態を把握し、任用や勤務条件等の検討に着手する。関係条例、規則等の整備、制定・改正は、次年度9月議会に提案する。

問
臨時・非常勤職員の「会計年度任用職員」の導入を伺う

答
当該制度に移行し、臨時非常勤職員の再認定を行う

特別職非常勤職員の任用及び臨時的任用の適正確保に向けた検討を行い、会計年度任用職員制度に移行すべく、臨時非常勤職員の再認定を行う。制度改正による財政負担は、1300万円程度の増額となる見込みである。

◀次のページは

一般質問

宗田雅之議員・関根政雄議員

問 青少年広場の改修策を伺う

答 事業化に向けて検討を重ねて行く

宗田 雅之 議員



質問

青少年広場の雨天後のグラウンド状態が悪く、早急な対応が必要であると考えます。村として、運動する為の安全・安心な場所を提供するのが責務であると思うが、今後の対応を伺う。

答弁(教育長)

グラウンドの排水状態が悪く、現状を抜本的に改修するには、まだ試算していないが相当な事業費が掛かると考へる。財源に有利な補助事業を探りながら、グラウンド整地の事業化



整備が待たれる青少年広場

に向けて検討を重ねていく。

再質問

グラウンド改修の問題は以前にも取り上げられ検討するとの答弁であつたが、現在事業費の試算もしていない。子供たちに安全に利用して頂くためにも、一日も早い事業費の試算をし、検討すべきでは。

答弁(教育長)

一部の方々には相談してはいたが、早急に専門の方々に相談しながら検討していく。

再質問

隣接している、テニスコートが現在使われていない。テニスコートを含めた全体的な改修を考えては。

答弁(教育長)

皆さん方の意見を頂戴しながら、多少の雨でも利用できるグラウンド整備に努力していく。

問 湯の田温泉周辺の振興策は

答 現在の美しい環境に磨きをかけられるよう検討する

質問

周辺の針葉樹が伐採されたが、その後の対応がされていない。中山間における観光開発は交流人口増のために、重要な施策ではないかと考へるが、今後の対応は。

答弁(村長)

環境を保全しながらもみじを育て、きれいな里山を整備して行く、また風景を楽しむながら散策できる遊歩道や休憩のための施設を考へている。湯の田温泉の環境を壊すことのないように、美しい環境に磨きをかけていけるよう、皆さんの意見、提言を頂きながら、開発を進めて行く。

再質問

さざり荘から少しの距離にある湯の田温泉は三十度以上の温泉が流出し、その周辺は他

答弁(村長)

町村に誇れる、美しいもみじの紅葉がみられる。植栽する木々の選択を含めて振興策を図っていけば相当の交流人口が増える。そのためにも時をまたず、一日も早く整備を進めるべきでは。

できるだけ早く、雑木をなくし、遊歩道を整備しながら桜、手前のほうにはもみじを植栽したいと考へる。職員には来年から花見ができるような桜を植えてみるよう指導をした。



関根 政雄 議員

住宅環境

問 公営住宅の環境整備策を示せ

答 入居者と相談し、美化に努める

質問

本村の公営住宅は各戸に生垣が植栽されプライベートな空き地も確保されている。しかし、それらの管理が不十分で景観を害している住宅が見受けられるがその対策を伺う。

また駐車場不足による増設の要望が出されているが、整備の見通しはあるか。

答弁(村長)

住宅の植栽や草刈り等の環境美化を含め、



環境整備が待たれる公営住宅

住宅の維持管理を行っていたくようをお願いしている。また入居時の誓約にもなっている。

水口住宅は7戸に対して、8台分の駐車場しかなく、敷地内に14台分のスペースを確保できるように計画する。

再質問

環境整備の誓約が交わされていても、守られていないのが現状である。再度入居者に分かる様な話し合いが必要ではないか。

答弁(村長)

管理する約束が守られるように指導する。守られない場合には村が管理の手配をして料金が入居者に払って頂くという手法もあるがさらに協議する。

再質問

「半ぶん作戦」を提案する。入居者と村が懇談し「住宅の周辺をきれいにすべ」と相談してはいかがか。シルバーセンターが環境公社の作業員と住民の協働作業で美化運動に切り変える作戦はどうか。

答弁(村長)

その提案は良いのではないかと思う。入居者と相談しながら構想を練っていく。また村で全て管理しなくてはならない部分もある。今後協議し環境美化に努める。

問 多目的スポーツ施設の整備計画を問う

答 国等の補助事業を探り整備を進める

質問

青少年広場は昨年の豪雨で法面が崩壊し、改良工事が進められている。この災害は地表面の排水処理と、暗渠排水の未整備によるものと思われるが、整備計画はあるか。

また消防団によるポンプ操法競技の練習が続けられたが、消防団からの施設整備の要望はあるか。

答弁(教育長)

要望に應えることができるように早急に検討する。

再質問

消防団員から、ポンプ操法の練習時のホースを干すポールと消火栓と水道施設の整備の要望がある。グラウンドの総合的な整備に合わせ整備すべきではないか。

答弁(教育長)

大規模な改修は国等の補助金を探り、専門家及び各関係機関団体との協議を踏まえ、整備の実現化に向けた。

答弁(村長)

ポンプ操法の練習の際には除草剤散布の要望があった。

再質問

村民グラウンドに夜間照明を増設してはとの村民の要望があるが。

答弁(村長)

整備には2億円ほどかかる。日本スポーツ振興センターの補助金に申請し、採択されれば着手する。

答弁(総務課長)

ホースかけについては将来の検討課題として計画の中にいれる。水槽については、現状の通りで対応したい。

問

将来に向けた貴重な水源確保を

答

水源確保に真剣に取り組む

前田 武久 議員



質問

人命に欠かせない飲料水、今後村内エリアに水道事業を網羅するためにも、需要が高まるのが予想される。そのためにも今から将来に向けた水源確保が必要である。

大字富田、俗称「大清水」に湧水している貴重な資源がある。7年前の東日本大地震の際、一時断水したが、現在は昔どおりの豊富



水源の湧水状況

な湧水状況となっている。水利権の確保に向けた、行政努力を強く望むが、村長の所信を伺う。

答弁(村長)

大清水に新たな水源確保とのことだが、平成7年度に、鮫川簡易水道管老朽更新及び、区域拡張工事認可を得るため、平成6年度に水源調査をした。その候補の中に大清水もある。

再質問

32年度までの給水計画が、925立方となっている。供給水量が現在1000立方であり、今後未整備地区への供給量に不足を生じる。吸水量確保のためにも、自然湧水の水利権確保への行政努力をすべきと思うが。

答弁(村長)

第4の水源確保というのも決して、無いにないで見つける事になると思う。

再質問

大清水の水源確保を計画すべきと申し述べている。その意志を伺う。

答弁(村長)

確保に真剣に取り組む。

問 水道水の安全管理は

答 水質管理に問題はない

質問

簡易水道の管理と、鉄木田水源周辺の涵養林の保全状況を探る。

答弁(村長)

水源の保護を目的として、平成23年度に国有林、約5町1反を購入。ブナ、ケヤキ、ヤマザクラ等を3千本を植栽し、樹木が生長するまでの期間、下刈り等の保全管理に努める。

再質問

水源8施設の内、涵養林のない西山の大沢施設の環境整備状況と、8施設の水源水質検査状況は。

答弁(村長)

水質検査の結果は、全て10年分は保管してある。

貯水槽、配水池に砂が入ってしまう施設も過去にはあったが、砂を除去しながら供給しているため、水質に問題は無い。

再質問

問題が生じている施設の環境整備の改善策は。

答弁(村長)

今のところ十分安全に供給できているが、不都合になった場合は環境整備も必要である。

議会 活性化 研修会

村民と共に学ぶ



議会基本条例制定を視野に

村議会では、福島県町村議会議長会 総括参事の吾妻邦博氏を講師に迎え、鮫川村議会基本条例制定に向けた研修会を開催しました。研修当日は、行政区長や議会モニターにも参加いただき、村民と共に学びました。

議会の役割

先行する都道府県や市町村の自治基本条例に続いて、議会基本条例制定の動きがここ10年ぐらゐの間に少しずつ広がり、さらに増える傾向にあります。

これまで、意欲的な首長の先進的施策の展開に対して、遅れをとっていた議会が、積極的な自治における主体的役割を自覚し、議会改革を始めています。

さらに具体的な改革内容を練り上げて、拘束力ある条文にすることによって、自治体の組織運営における主体性の確立が必要とされています。

議会活動の重要性

議会自己改革のためには、まず議員自身、これまでの議員活動に満足することなく、新たな取り組みへの覚悟と能力の向上を図ることが望まれます。

議員に若い層や女性が進出できるよう工夫すべきだといったことがしばしば提言されてきました。また都道府県や市と比べてはるかに議員報酬も少なく、政務調査費が認められていない現状では、十分な活動が出来ず不可能とする反論もあります。

若い層や女性の進出が早急に望めないとするならば、「議会主催の懇談会」を青年層や高校生、女性対象に行うことや、商店主対象、勤労者対象と、さまざまな形での実施を考慮しなければなりません。この試みが、議会活動の重要性を理解し、参加者の中から新しい議員志望者を生み出す可能性があるかもしれません。

(講演の内容を一部抜粋してお知らせしました)

追跡!

第11弾

過去の一般質問が行政に反映されているか、その経過を検証します。

どうなったっぺ?

あの一般質問

【温泉利用の宿泊施設の整備】

質問・提言

村内外から温泉を利用した、宿泊施設の要望があるが、整備の計画はあるか。

平成29年 6月議会

答 弁

皆さんと協議しながら、次世代に夢・希望をもたせられるよう事業を手がけてゆく。

経過及び結果

周辺の宿泊施設が廃業し、早急な検討が必要とされる。



期待される湯ノ田温泉の利活用

【集落の共同作業とコミュニティ】

質問・提言

組内の共同作業が困難な集落がみられる。今後の対応を伺う。

平成29年 6月議会

答 弁

組内の高齢者の共同作業の義務免除など、共通の取り決めを検討したい。

経過及び結果

年々高齢化、人口減少が進む中、早急な対応が必要と考えられる。



共同作業に支えられる地域環境保全

※定例議会での「一般質問」は議員の「政策提言」や、「村民の皆様の声」を村政に反映できる唯一の場となります。質問された「政策提言がどのように検討されているか」を根強く検証していく事としています。

村民の広場

私の夢シリーズ⑭

関根 ^{ひかる}輝さん(鮫川中2年生)

がんばれ!!
村の担い手



(西山字水口)

- 忍さん、社子さんの長男
- いわきボーイズで活躍中

高校野球で甲子園へ

僕の夢は、高校野球で甲子園へ出場することです。甲子園は、小学3年生から野球を始めた僕にとって憧れの舞台です。

毎年、テレビで観る白熱した試合。僕もその舞台に立ってプレーをしたいです。その夢を実現するために日々の練習に励んでいます。

目標の高校へ進学するために、野球だけではなく、勉強も頑張りたいと思います。そして、いつも支えてくれる家族や周りの方々に、感謝の気持ちを忘れずに、中学校生活を送りたいと思います。

ゆうきくん からの お願い

議会傍聴に
来てくんちナイ!
12月定例議会は
12月中旬の予定です。



若者の 声

— 9月定例議会傍聴者アンケートより —

※福島大学や日本大学の学生の皆さんに
議会傍聴をしていただきました。貴重
なご意見、ありがとうございました。

議会傍聴者からの一言

◆ 議員の発言内容は良く分かりましたか

- ・ 場所を知らないから、イメージしにくいところもあった。
- ・ 専門的な用語を用いたりしていたので、その部分では解釈が難しかったが内容は把握することができた。
- ・ 難しい表現方法があった。

◆ 答弁者(村長・教育長)の発言はわかりましたか

- ・ 場所を知らないから、イメージしにくいものもあった。
- ・ 専門的な用語を使っていたので、難しかったが大体は理解できた。
- ・ 地域ならではの問題や解決策があつて勉強になった。



ふるさと鮫川への想い シリーズ③0

さめがわとさめかわ

現在、東京都世田谷区経堂にて「山海食道さめかわ」の屋号で和食と「MIKI福島」というアパートを妻と共に経営しております。

屋号は、古里にちなみ、福島に海の幸あり、山の幸あり、鮫川小学校校歌にもありますように、山、川、道から「山海食道・さめかわ」の屋号にいたしました。

東京農大のある経堂には、毎月鮫川村より、手まめ館さんが農産物を売りに来ているので、鮫川でも馴染みの街だと思えますが、私は棚倉高校を卒業後、経堂に降り立ち33年、第2の故郷となっているところに偶然にも、鮫川村の名を目にする奇跡に驚いています。

◆プロフィール

【生年月日】
昭和42年生まれ

【学 校】
鮫川小学校卒業
鮫川中学校卒業
棚倉高等学校卒業

【趣 味】
野球観戦



渡部 良一さん(旧姓:板橋)
(大字赤坂中野字道少田出身)
東京都世田谷区在住

そんな縁があり、以前から帰省すると、近隣から沢山の野菜を頂いて東京に戻って来る度に、自分の店で、自分の手で、お客様に地物の味と香りのする「鮫川ブランド」の野菜を使った料理を提供したいと強く思う様になりました。

独立することを決め、田舎の野菜と山菜の協力を求めに帰省した時に、実家の押し入れから「思い出探し」をしていたら、小学校の頃の文集が出てきて、読んでみると「大人になったら、料理を作る人になりたい!」と書いてあり、自分でも忘れていた内容で、知らず知らずのうちに夢を叶えていたのだと我ながら関心してしまいました。

修行に入った当時は、当然給料は安く、早朝から夜遅くまで働き、休みは月1日だけで、今の時代であれば職業倫理に反していたのかもしれませんが、仲間や先輩、周りの大人達に救われ技術が向上して行く喜び、そして毎日家族の為に「食事を作る母」の苦労を知ることができました。

そして現在、平成29年4月



に開店、春には鮫川村の山菜、季節の野菜を提供し、お客様からは「東京ではなかなか地の物を食べられない」と喜んで召し上がって頂いています。

そこからお客様との話もひろがり、鮫川村に関心を持って頂く、きっかけになっており喜んで貰う事が私達の励みになっています。

そして開店当時から周辺地域の方々の良いご縁に恵まれ、多くの温かいお客様にご来店をいただいています。事に大変感謝しております。

「ふるさと鮫川への想い」シリーズへの寄稿の機会を与えて下さいました鮫川村議会関係者の皆様方に感謝申し上げます。

勝手ながら鮫川の看板を背負っている限り、鮫川の名に恥じぬ様、屋号にもあります様に「山・海・食」の道に精進いたします。

表紙の写真

議会だよりの表紙の写真は、毎回、村広報係の西橋君撮影の写真をお借りして掲載しています。いつも感謝しています。



こんなに大きく育ちました!

広報編集委員会

- ◆委員長 星 一彌
- ◆委員長 宗田 雅之
- ◆委員長 前田 武久
- ◆委員長 関根 政雄
- ◆委員長 関根 英也
- ◆委員長 堀川 照夫
- ◆委員長 遠藤 貴人

編集後記

秋も深まり、稲の収穫も終わり、山並みにも紅葉が終盤を迎え、朝夕にもすっかり寒くなってきました。さらに寒さは厳しくなりそうですので、体調管理には十分注意して下さい。

村民の皆様方に「みんなの鮫川村議会だより」を読んでいただき、ご意見、要望をお寄せ頂きますよう、お待ちしております。

(広報編集委員会)